

水をもとめて

なぜ原爆は
投下されたか

サダコの
千羽鶴

原爆と人間

ヒロシマ・ナガサキ

平和パネル展

戦後80年・蕨市平和都市宣言40周年記念

焼き場の少年

ふたたび
被爆者をつくるな

平和を願う紙芝居

「蕨の成年式ものがたり」

絵本読み聞かせ、手あそび ほか

8月6日(水)午前10時～

出演：シニア読み聞かせじゃんけんぽん

展示期間：令和7年8月1日(金)

～8月14日(木)

9:00～21:00(開館時間内はいつでもご覧いただけます)

展示場所：蕨市立中央公民館 中ロビー

蕨市中央 4-21-29 電話 048-432-2530

ぱらっとわらび東・南ルート「市民会館入口」または「和楽備神社」下車

蕨市平和都市宣言

昭和20年8月、広島、長崎に人類初の原子爆弾が投下され、早くも40年の歳月が流れました。その間、唯一の被爆国である我が国は、恒久平和を崇高な理念として憲法に掲げ、自由と正義を愛し、世界平和に寄与してきました。しかるに今、世界の超大国を中心とした核保有国が競って核軍備拡充を図っていることは、まことに脅威であり、この核軍拡競争に対して、世界のいたるところで、平和希求の叫びがとみに高まりつつあります。このような国際情勢の中で、戦争は人間が起こすものであり、また人間の力によってこれを防ぐことができることをしっかりと心に刻み、平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが、現代に生きる我々の責務であると考えます。私たち蕨市民は、平和憲法の精神を守る立場から、非核三原則が厳守されることを強く希望し、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります。蕨市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「平和都市」であることを宣言いたします。

昭和60年9月9日 蕨市